

幼稚園の圖畫及び手工に就いて (三)

お仕事に對する統計的觀察

八王子幼稚園長

伊 藤 堅 逸

三 幼兒に興味ある仕事

さきに「仕事に對する幼兒の興味」云ふ表題を掲げ、仕事云ふものに對して幼兒がさう云ふやうに興味をもつてゐるか云ふ點を専ら考察したのであるが、こゝには仕事の中でさう云ふものに幼兒は興味をもつてゐるか、即ち圖畫ぬいこり折紙粘土なご種々ある中で幼兒が興味をもつてするのはどんなものであるか云ふことについて述べて見たいのである。

さきに保育カードを掲げて置いたが、それには圖畫及び手工の種目として圖畫塗繪ぬいこり組織紙きり紙折紙厚紙細工豆細工粘土細工貼紙細工木工細工其他となつてゐる。此の中で塗繪は五年度限りで或る考へのもとに私の所ではさせないこととしたから六年度から塗繪は統計には全然出て來ない。

方法と幼兒の興味とは非常に關係の深いものであるが、私の取つてゐる方法は前にも述べたやうに全く自由主義で、選擇にも方法にも何らの干渉を與へない。先生の方から敢て教へやうこもしない。若し幼兒の方から何かたづねるやうなことのあつた場合は簡單な指導を與へる位である。上手に何か出来上ることよりもさせるのが本意である。云つて無理

第十 五 表

		圖 畫	ス リ エ	ぬ い と り	組 紙	織 紙	切 紙	た み 紙	厚 紙	豆 細 工	粘 土	貼 紙	木 工	其 他	計
男	實數	771	95	15	3	18	340	194	28	60	106	3	4	1	1638
	%	47.1	5.8	1.	0.2	1.1	20.3	11.9	1.8	3.7	6.5	0.2	0.3	0.1	100
女	實數	639	198	58	33	26	889	276	112	51	261	15	0	42	2600
	%	24.6	7.6	2.2	1.2	1.	34.2	10.6	4.3	2.	10.1	0.6	0	1.6	100
計	實數	1410	293	73	36	44	1229	470	140	111	367	18	4	43	4238
	%	33.3	6.9	1.7	0.9	1.	29.	11.1	3.3	2.6	8.7	0.4	0.1	1.	100

に幼児を引きこめたり引き込んだりするこゝは絶対にしない。

幼児の興味は大體に於てその精神的發達の過程に條件付けられてゐるものである。こゝは心理學的に既に明かである、幼児の興味に適すべき幾つかの異つたものが幾つかある場合それらの中では幼児の興味は極めて變り易い性質のものである。例へば圖畫をやらうと思つてゐる所に誰か粘土細工をやつてゐるのを見るこゝ自分も圖畫をやめて粘土をやつて見やうと云ふ氣になるこゝがある。或は自分は何かもしないで外へ出て遊びたいと思つてゐた所へ他のものが「○○ちゃんは何をする？僕は圖畫を書く」こゝでも云はれれば外へ出て遊ぶと云ふ心がこゝへやら行つてしまつて「僕も圖畫を書く、一緒に書かないか」など云ふ、然う云ふやうに幼児の興味は内外の僅かな刺戟により極めて變り易いものである。して見るこゝ幼児の興味を統計的に見るこゝは全然無益のやうに思はれるのであるが、併し長い期間に亙りて統計を取つて見るこゝ自からに興味の集まる状態を明瞭に認めるこゝが出来るのである。

では早速次ぎに五年度の統計から先づ掲げて見るこゝにしよう。

此れは全體から見たものであるが、これによるこゝ最も多いのは圖畫で………%で、それにつぐものは切紙で二九%となつてゐる。他は皆それよりもつゝ、少なうたゝみ紙、粘土ぬり、厚紙豆細工ぬいこり、織紙貼紙木工と云ふ順序になつてゐる。

故に全體から見るこゝ圖畫と切紙は最も興味のあるもので、之れに次ぐものはたゝみ

紙粘土ぬり等である。これを男女に於て見るに、其何づれに於ても圖畫ミ切紙が最も興味あるものとなつてゐるが男では切紙よりか圖畫が遙かに多く、女では圖畫よりか切紙が遙かに多くなつてゐる。そして圖畫は女では二四・六であるが男では四七・一で男の方が女よりか遙かに圖畫に對する興味は多い、切紙は男の二〇・三に對し女は三四・二で、女の方が遙かに多い。たゞみ紙は男女何づれに於ても興味の第三位にあつて男一・九、女一〇・六で男女の差は極めて少く男の方が幾分か多い位である。次ぎは粘土で、これも男女何れに於てもたゞみ紙に次ぐ興味あるもので男は六・五、女は一〇・一で女の方が多い、其次ぎはぬり繪で男女ミもこれは興味の第五位にある。男五・八、女七・六で僅かな差ではあるが矢張り女の方が多い。興味の第六位にあるものは男では豆細工で女では厚紙細工となつてゐる。そして豆細工は女よりも男に多く、厚紙は男よりも女に多い。ぬいこりは男よりも女に多く織紙は男女殆んぞ同じであるが男の方が少し多い。貼紙組紙は何づれも男よりも女に多く、木工は男にのみある。

次ぎの表は興味の多いものから順次に男女別々に種目を並べたもので以上述べた所をこれによりて一目して明かにする事が出来る。

女		順位	男	
切	紙	1	圖	畫
圖	畫	2	切	紙
折	紙	3	折	紙
粘	土	4	粘	土
塗	繪	5	塗	繪
厚	紙	6	豆	細
ぬ	いと	7	厚	紙
い	り	8	織	紙
豆	細	9	ぬ	いと
組	紙	10	木	工
織	紙	11	組	紙
貼	紙		貼	紙

上、これは大きい組よりか小さい組の方に多く、そして男よりも女が多い。塗繪、は圖畫の一種のやうであるが圖畫ミは其性質が全く異つてゐるだけにこれは大きい組でも小さい組でも女の方に多くなつてゐる。組別には六・九で同數となつて

男でも女でも小さい組の方が多くなつてゐる。そしてこれは組を通じて男よりも女の方に興味が多くなつてゐる。次ぎに折紙であるが、これは大きい組も小さい組も一・一である。男女別々に見れば殆んぞ皆同じ位であるが小さい組の男が最も多く同じ組の女が最も少くなつてゐる。次ぎに粘

第 十 六 表

			圖	塗	ぬ	組	織	切	折	厚	豆	粘	貼	木	其	計
			畫	繪	いと	紙	紙	紙	紙	紙	紙	工	土	紙	工	
大きい組	男	實數	638	78	11	3	10	214	134	20	42	68	1	4	1	1224
		%	52.1	6.4	1.0	0.2	0.8	17.5	10.9	1.6	3.4	5.6	0.0	0.3	0.1	100
	女	實數	404	116	49	262	16	498	176	69	43	140	8	0	26	1571
		%	25.7	7.4	3.1	1.7	1.0	31.7	11.2	4.4	2.7	8.9	0.5		1.7	100
計	實數	1042	194	60	29	26	712	310	89	85	208	9	4	27	2795	
	%	87.3	6.9	2.1	1.1	0.9	25.5	11.1	3.2	3.0	7.5	0.3	0.1	1.0	100	
小さい組	男	實數	133	17	4	0	8	126	60	8	18	38	2	0	0	414
		%	32.1	4.1	1.0	0.0	1.9	30.5	14.5	1.9	4.3	9.2	0.5	0.0	0.0	100
	女	實數	235	82	9	7	10	391	100	43	8	121	7	0	16	1029
		%	22.8	7.9	0.9	0.7	1.0	37.9	9.7	4.2	0.8	11.8	0.7		1.6	100
計	實數	368	99	13	7	18	517	160	51	26	159	9	0	16	1443	
	%	25.5	6.9	0.9	0.5	1.2	35.8	11.1	3.5	1.8	11.1	0.6		1.1	100	

る。ぬいごりは大きい組の方が小さい組より多く男女を比較すれば大きい組では男より女に多く小さい組では女より男の方が多くなつてゐるが其差は極めて少ない。豆細工は小さい組より大きい組に多く、女よりか男に多い、厚紙細工は二組とも殆んど同じであるが小さい組に幾分か多くなつてゐる、大きい組では男よりも女の方が多く、小さい組では女よりも次にこれを組別にして観察して見るに即ち上に掲げる表の如くである。

これを見るに、この組でも、又組の男女も別々にして見ても圖畫と切紙は最も多くなつてゐる、圖畫は大きい組でも小さい組でも男の方が女よりも多い。そして小さい組の男より大きい組の男が多い、だから圖畫は大きい組の男に興味が多い。女の方でも小さい組より大きい組の方が圖畫に多く興味をもつてゐる、全體から見て圖畫に對する興味は大きい組は三七・三で小さい組は二五・五であるから小さい組より大きい組が遙かに多いのである。次に切紙を見るに、これは圖畫とは全く反對で大きい組より小さい組の男の方が多くなつてゐる。組紙織紙貼紙木工等については別に云ふこゝを略す。斯る點を明か

小さい組	順位	大きい組
切紙	1	畫紙
圖畫	2	紙
折紙	3	土
粘土	4	繪
塗繪	5	紙
厚紙	6	工
豆細工	7	紙
織紙	8	組
ぬいとり	9	紙
ぬいとり	10	紙
貼紙	11	紙
組紙	12	工

べきものが殆んど一定してゐるため材料そのものゝ變化から幼兒の興味に影響されるやうなことは先づないものを見なければならぬ。併し塗繪厚紙ぬいとり等には一定した材料なく先生の工夫次第で材料には常に變化がある故に其變化が幼兒に影響することは決して少くない。つまり此らのものでは材料の中に幼兒に氣に入つたものがあるをそれをやつて見やうとする興味が生じて來るのである。だから材料の如何によつてはそれに對する幼兒の興味も可成り上つて來るものを見なければならぬ。これは云へ此等種目の中でもその材料の如何によらず自然幼兒の興味が集まつて來るものゝ然うでないものゝみがあるは勿論のことである。

自由主義に於ては初め漠然と種々なるものゝ材料を投じて見るが漸次幼兒の興味が集る方面に多くの材料を投じなければならぬことゝなるから、結局幼兒の興味の薄い方面は忽にする傾きが生ずるものである。それで幼兒の興味の多い方面には材料を供給する側方でも次ぎから次ぎへ變つたものを云ふので材料に苦心する、だから益々幼兒の興味も其方へ進んで來るを云ふことゝなるかも知れない。併したまひ幼兒の興味が薄い方面のものでも、何時要求されても其要求に應ずるだけのことは常に準備してゐる。

さて説明が少々脇途にはいつたやうであるが、前に掲げた興味の順位は、それだから與へる材料によりて變り得るもの

にするには組別に種目の順位を作つて見るに次ぎの如くなる。

此れで見るに初めの圖畫切紙が前後になつてゐるのみで豆細工までは兩方とも同じ順位を保つてゐるが小さい組では織紙が大きい組よりも遙かに高くぬいとりは兩方とも八位にある。

所で此等の種目の中で圖畫切紙粘土豆細工織紙等は其材料となる

である云ふ事は豫想し得られるのである。然し自然的に幼児の興味に適したものは三年四年さ年の重る共に興味の順位も矢張り自然に高くなつて来るものである。右に掲げて既に観察した統計は五年度のもので、教育の方針を自由主義に改めた最初の一年間の統計である。

次に掲げるものは其二年目及三年目の統計即ち六年度七年度の統計である。(八年度の統計もあるが大概大同小異で五六七の三年の統計を擧げるなら既に充分と思ふのでこゝには態に省いた)幼稚園では一年毎に大部分の幼児は變つて新しくなる。故に興味の傾向も幾分か變つてゐるものと思はれるのであるが幼児の興味は大體に於て同じ傾向を有してゐる事をこれらの統計から知るこゝが出来た。これらの表でぬいゝが一回も出てゐないのは前にも一言したと思ふが六年度から或る考へのもとに私の幼稚園ではさせないこゝにしたからである。貼紙木工は「其他」の中に加算し別々に計算するのを省くこゝにした。

この表を見るに六年度の表では切紙が第一位にあつてその次にぬいゝなりとなつてゐる。圖畫はぬいゝなりは極めて僅かの差ではあるが圖畫が第三位にある。それに次いでのはたゝみ紙粘土厚紙云ふ順序となつてゐる、更らに七年度の表で見ると切紙は矢張り最高でそれに次いで圖畫となつて、ぬいゝなりは第三位になつてゐる、ぬいゝなりに次いでのはたゝみ紙で

女	順位	男
切紙	1	圖畫
ぬいとり	2	切紙
折紙	3	ぬいとり
圖畫	4	厚紙
粘土	5	折紙
厚紙	6	粘土
織紙	7	豆細工
豆細工	8	織紙
組紙	9	組紙

女	順位	男
切紙	1	圖畫
ぬいとり	2	切紙
圖畫	3	折紙
折紙	4	ぬいとり
厚紙	5	厚紙
織紙	6	粘土
粘土	7	織紙
組紙	8	豆細工
豆細工	9	組紙

あるが矢張り相當多い方である。それから一段さもなくして厚紙、織紙、粘土、豆細工、組紙云ふ順序になつてゐる。此の二つの表を前掲五年度のに比較して見て著しく相異してゐる點は、ぬいゝなりが七位から急に二位三位の所に

第十七表 (六年度)

		圖	ぬり	ぬい	組	織	切	た	厚	豆	粘	貼	木	其	計
		畫	え	とり	紙	紙	紙	み紙	紙	細工	土	紙	工	他	
男	實數	273		108	1	9	166	97	99	23	73			33	893
	%	30.57		12.09	0.11	1.01	18.58	10.86	11.56	3.13	8.17			3.92	100
女	實數	203		379	10	35	1027	304	90	23	153			81	2310
	%	8.79		16.41	0.43	1.52	44.46	13.16	3.90	1.00	6.84			3.49	100
計	實數	477		487	11	44	1193	401	189	51	231			119	3203
	%	14.89		15.20	0.34	1.37	37.27	12.52	5.90	1.59	7.21			3.71	100

第十八表 (七年度)

		圖	ぬり	ぬい	組	織	切	た	厚	豆	粘	貼	木	其	計
		畫	え	とり	紙	紙	紙	み紙	紙	細工	土	紙	工	他	
男	實數	420		186	4	41	237	203	114	23	50			24	1352
	%	31.08		13.76	0.30	3.03	21.23	15.01	8.43	1.70	3.70			1.75	100
女	實數	273		351	22	94	516	273	102	10	81			41	1763
	%	15.48		19.91	1.25	5.33	29.27	15.48	5.79	0.57	4.59			2.33	100
計	實數	693		537	26	135	803	476	216	33	131			65	3115
	%	22.25		17.23	0.83	4.33	25.78	15.23	6.93	1.06	4.21			2.1	100

まで高くなつてゐる點である。此れは、ぬいこりが面白いものだ云ふことが幼児に漸やく解つて来たからでもあらうが、又材料を與へる先生の方でもこれが幼児に興味があるものだ知つて次ぎから次ぎへ各種々變つた材料を準備して與へた爲めであるかも知れない。だから五年度にぬいこりが少なかつたのは幼児がまだこれに對する興味を味ひ得るに至らなかつた云ふこと、與へる材料が貧弱であつたからである。見るの外はない、二年目の六年度からは幼児の方でもぬいこりの興味をいよく味ふことが出来るやうになり材料を與へる方でも幼児の其傾向を見て材料を豊富にしたのでぬいこりに對する興味が著しく高くなつて来たのであらう。粘土は五年度では四位、六年度では五位、七年度では七位になつてゐる。併し冬期にも此れをなしてつゞけることが出来るものであるならまだバ

1セントは多くなり順位も高くなるものを見なければならぬ。或はぬいざりたゝみ紙なごゝいゝ適する程になるかも知れない。實際上から見てゐても幼児は粘土に大なる興味を有つてゐるやうである。

さて次に男女別にして見るに、六年度では男は圖書が最も多く第一位を占め次に切紙ぬいざり厚紙たゝみ紙粘土云ふ順序になり、豆細工織紙組紙は皆極めて少ない、女は切紙が第一位で其次ぎにぬいざりたゝみ紙粘土云ふ順序になつてゐる。七年度では男は矢張り圖書が第一位で其次ぎに切紙たゝみ紙ぬいざり厚紙粘土豆細工織紙組紙云ふ順序になつて居り、女は切紙が第一位で其次ぎにぬいざり圖書たゝみ紙厚紙粘土組紙豆細工織紙組紙等々其他は皆男よりも女の方に多い。三年間を通じて男は特に圖書厚紙豆細工に最も多くの興味を有して居ることが解る。織紙たゝみ紙粘土等は男も相當興味あるものではあるが男より女に幾分か興味が多い。厚紙は男女何づれにも興味はあるが何づれか云へば男の方に多い。切紙ぬいざりは到底男の及ぶ所でない、切紙は男の圖書と同様女に最も多く興味あるもので、此の二つは男女興味のみき對照さなつてゐる。ぬいざりは男にも可成り興味はあるが女には到底及ばない。

小さい組	順位	大きい組
切紙	1	切紙
圖書	2	ぬいと
ぬいと	3	圖書
粘土	4	折紙
折紙	5	厚紙
織紙	6	粘土
豆細工	7	豆細工
厚紙	8	織紙
組紙	9	組紙

次にこれを組別にして觀察して見るに六年度では圖書は大きい組よりも小さい組の方が多い。併し七年度では小さい組よりも大きい組の方が多くなつてゐる五年度に於ても矢張り小さい組よりも大きい組の方が多くなつてゐる。そして圖書の最も多いのは五年度七年度では大きい組の男六年度では小さい組の男で最も少ないのは五年七年度では小さい組の女であるが六年度では大きい組の女になつてゐる

第 十 九 表 (六年度)

		圖	塗	ぬ	組	織	切	折	厚	豆	粘	貼	木	其	計
		畫	繪	いと	紙	紙	紙	紙	紙	工	土	紙	工	他	
大きい組	男	實數	19.4	81		9	142	77	95	23	33			27	681
		%	28.49	11.89		1.32	22.32	11.31	13.95	3.38	4.85			2.49	100
	女	實數	166	296	10	27	837	265	88	21	119			77	1906
		%	8.71	15.53	0.53	1.42	43.91	13.38	4.62	1.10	6.24			4.56	100?
計	實數	360	377	10	36	979	342	183	44	152				104	2587
	%	13.92	14.61	0.39	1.39	37.87	13.22	7.07	1.70	5.88				3.95	100
小さい組	男	實數	80	27	1		24	20	4	5	40			11	212
		%	37.74	12.74	0.47		11.32	9.43	1.89	2.36	18.87			5.18	100
	女	實數	37	83		8	190	39	2	2	39			4	404
		%	9.16	20.54		1.98	47.03	39.65	0.50	0.50	9.65			0.99	100
計	實數	117	110	1	8	214	59	6	7	79				15	616
	%	18.99	07.86	0.16	1.30	34.74	9.58	0.97	1.44	12.82				2.44	100

第 二 十 表 (七年度)

		圖	塗	ぬ	組	織	切	折	厚	豆	粘	貼	木	其	計
		畫	繪	いと	紙	紙	紙	紙	紙	工	土	紙	工	他	
大きい組	男	實數	270	114	1	18	141	106	56	10	22			13	751
		%	35.95	15.18	0.13	2.40	18.78	14.11	7.46	1.33	2.93			1.73	100
	女	實數	132	147	14	53	232	122	61	3	35			27	826
		%	15.98	17.80	1.70	6.42	28.09	14.77	7.39	0.36	4.24			3.25	100
計	實數	402	261	15	71	373	228	117	13	57				40	1577
	%	25.49	16.55	0.95	4.50	23.65	14.46	7.42	0.82	3.61				2.55	100
小さい組	男	實數	150	72	3	23	146	97	58	13	28			11	601
		%	24.96	11.98	0.50	3.83	24.29	16.14	9.65	2.16	4.66			1.83	100
	女	實數	141	204	8	41	284	151	41	7	46			14	937
		%	15.05	21.77	0.85	4.38	30.31	16.12	4.38	0.75	4.91			1.48	100
計	實數	291	276	11	64	430	248	99	20	74				25	1538
	%	18.91	17.95	0.72	4.16	27.96	16.13	6.44	1.30	4.81				1.62	100

組	位	組	大
紙	1	い	畫
畫	2	圖	紙
と	3	ぬ	い
り	4	ぬ	と
紙	5	折	紙
土	6	厚	紙
紙	7	織	土
工	8	粘	紙
紙	9	組	工
細		豆	細
豆		組	豆
組			

る。ぬいこりは六年度七年度とも大きい組よりも小さい組の方が多く、最も多いのは六年度七年度とも小さい組の女で、最も少ないのは六年度では大きい組の男、七年度では小さい組の男となつてゐる。組紙はぎの年度でも甚だ少いが小さい組よりも大きい組の方が多い。織紙も同く小さい組よりも大きい組の方が多くなつてゐる。次ぎに切紙は六年度では小さい組よりも大きい組に多く七年度では其反對に小さい

組の方が多くなつてゐる。五年度でも小さい組の方が多い。最も多いのは六年度七年度ともに小さい組の女で、最も少ないのは六年度では小さい組の男七年度では大きい組の男となつてゐる。折紙は六年度では大きい組七年度では小さい組が多くなつてゐる。五年度では兩方同じである。厚紙は六年度も七年度も大きい組が多くなつてゐる。併し五年度では小さい組が多くなつてゐる。豆細工は六年度は大きい組、七年度は小さい組にして五年度は大きい組に多い。最後に粘土は五年度でも六年度でも又七年度でも小さい組に多くなつてゐる。此れを解り易く一つの表にして見るに左の如くである。

√は大きい組に多いもの△は小さい組に多いもの∥は兩方に同じものと云ふ印、数字は年度である。

組いき大			年度	圖畫	ぬいとり	組紙	織紙	切紙	折紙	厚紙	工豆細	粘土
7	6	5										
√	△	√										
△	△	√										
√	√	√										
√	√	△										
△	√	△										
△	√	∥										
√	√	△										
△	√	√										
△	△	△										
7	6	5										
組いさ小												

此れを見るに組によつて何が特に何の組に興味があるかは云へないが三ヶ年を通じては大きい組には組紙小さい組には粘土がそれらに興味あるものとなつてゐる。圖畫厚紙豆細工は比較的多く大きい組に、其他は皆矢張り比較的によく小さい組に興味があつたに云へるのみである。

尚次ぎに男女別にして大小二組を別々に一つの

表中數字は年度で大小は大きい組と小さい組、Vは男に多く△は女に多い事を示す。

男						女					
7		6		5		7		6		5	
小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大
V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
V	△	△	△	△	V	V	△	△	△	△	△
V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V
V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V	V
△	△	V	△	△	△	△	△	△	△	△	△
小	大	小	大	小	大	小	大	小	大	小	大
7		6		5		7		6		5	
						女					

折紙も粘土も皆女の方に多くなつてゐる。

以上で極めて雑薄ではあるが統計的觀察は終つたのである。所で手工種目の中で切紙とぬいぎりについては多少の説明を要するかと思ふので左に簡單に附言して置く、

切紙には指で切るものと鋏で切るものとあるがこれまで云ふた切紙と云ふのは鋏で切るものを云ふのである。

切紙の材料となるべきものは折紙に用ふ普通の色紙である。此の色紙を幼兒は小さい手鋏を以つて自由に切るのである。別に切方は教へないと思ふまゝに切らせる。始めは一つ折りにして切つてゐるが、だんくく二つ折り三つ折り四つ折り五つ折りなごにして切る。そして始めは切つたものが中々續かないで離ればなれになつてしまふ事があるがそれもだんくく上手になつて續いたものが出来るやうになる。折りを廣げて續いた一つのものが出来た時には子供は大發見でもし

表にし何がぢちらに多いかを示して見るに即ち左表の如くである。(此れはさきに一應説明して置いたのであるが唯解り易い爲めに掲げて見ることにしたのである)。

此れによつて見るに圖畫と豆細工は三年間通じて大小ともに皆男の方に多く、切紙は三年間通じて大小ともに皆女の方に多くなつてゐる。男に比較的多いのは厚紙だけで其他にはなく、ぬいぎりも組紙も織紙も

たやうな大喜びで又他の紙を取つて切る。切紙は他のものは異つて上達するのが早い。そこに此の切紙の特徴を見るべき一つがある。それに折つて切つたものを開いて見た時自分ながらに驚くべき綺麗な形が出来てゐるのを見て子供は驚喜の感に打たれる。そこに又此の切紙の今一つの特徴を見るべきものがある。始めは鋏が直線的にのみ動くから出来上るものも角ばつたものしか出来ないが後には曲線的に鋏が動くやうになり出来上るものも大人にも出来ないやうな綺麗な模様の形を切るやうになる。道具を使用して作るもので斯んな氣持よく出来るものは恐らく他にないであらう。時折に參觀に來た人が如何にも無心に、他見をしながらお隣の者さ何か別の事を談しながらすらく／＼切つてゐる所を見て、そして又それが出来上がればそれを開いて見て如何にもうれしそうな面をして又他の紙を取つて切る、その有様を見て參觀者自身わざわざ紙を鋏を取つて切つて見るのであるが到底無心な幼児には及ばないことを知つて再び驚くのである。

此の切紙は既に統計的に見たやうに圖畫手工の内でも最も興味が多いもので特に女の子には最も喜ばれる手工である。それはこれが裝飾的であるからである。幼稚園の手工の一つとして無論從來切紙はあるのであるが、併し其れが教育的に果してどれだけ大きな價值のあるものであるかについては殆んど問題とされてゐないし又研究もされてゐない。併し統計的に見てこれは幼稚園の重要な手工の一つと見てよいと思ふ、故にこの切紙については今後大に研究を要すると思ふのである。

次にぬいざりであるが、此れは厚口の畫用紙で普通の大きさのものを四つ切りにしてそれに下繪を畫いて五ミリ置き位に針で穴をあけてあるのを與へるのである。幼兒は毛糸針に備へてある細口の毛糸長さ一尺五寸位のものを通して縫ふのである、始めは極めて易しいものをさせるのであるがだん／＼上手になつて可成りむづかしいものをするやうになる。始めは針に糸を通すこまやきの穴に針をもつて行つてよいが解らなくなるのもあるから多少は手をかけてやる必要もある。

がやがて何もかも自分獨りとするやうになる。針を持たせるに何もなく危険のやうにも思はれるが四年半にわたつてまだ一人も其針で怪我をしたことも泣いたこともないから割合に危険のないものである。此のぬいこりは一日で出来上らない事が多い。それで其未完成のものを自分で保存して次ぎの時にそれを出して仕残りの所をするに云ふ所に教育的に大きな價値の一つが認められるのである。他の多くのものは其場で其時に仕上げるがぬいこりは然うでない、それで今日の仕事を明日もするに云ふ仕事に對する繼續的精神を養ふにはぬいこりは最もよい手工である。男女も此れには可成り大なる興味をもつてゐる事を統計的に見たゞけでも幼稚園の手工として重要なものである事を知る事が出来るのであるが、更らに其教育的價値を研究するなら此れも亦幼稚園の手工として必ず問題とされなければならぬものであると思ふのである。

尤も嘗てはぬいこりに對して、これを幼稚園の手工とすることに對して反對の非難もあつたやうである。それは餘り細かいこゝをさせるに眼に對し、又幼兒の心的發達に對して有害であるに云ふのが主なる理由であつたかと思つてゐる。同じ理由で他の手工、例へば刺紙、織紙、折紙等に對しても非難があつた。併しその非難と云ふのは劃一的教育の場合に於ける非難で自由主義教育の場合に於てはではない。自由主義教育に於ては如何なる場合でも幼兒に無理を仕向けることがない。常に幼兒の興味に従つて行はれて行く故幼兒のもつてゐる力以上の緻密なものとか理解し得ないやうな難事を強いるなと云ふやうなことはない。だから幼兒の心身の發達に害を與へるなと云ふやうな心配は絶對にないと思ふのである。

四　むすび

以上で幼稚園の圖書及び手工についての統計的觀察は大體終つたやうである。この點に就いても決論は尙他の研究に俟ちたいと思ふ。此れは統計として目下の幼稚園に於ては餘り肝要なものではないかも知れない。併し此の種の統計は著者の狭い見聞では未だ他にあるを知らない、故に出来るだけ努力して整理もし又觀察もしたのであるが不行届の所は元より

多くあるに相違ない。それに四年間に於ける一年毎の統計で同じやうなものが四つもあるので説明も簡單に行かず従つてくさい云ふ非難も又免かれないであらう。それらの缺點は統計に不慣れなものとした仕事として寛恕をされるなら誠に幸甚である。

幼稚園の研究は最も遅れてゐるもの一つである、最近此の方面の著者も多少出て研究の扉が幾分か開かれつゝあるやうにも思はれる。併しまだく幼稚園の研究は他のものと比較して等閑にされてゐるやうに思はれる。尤も童謡とか遊戯などは最近著しい進歩をなしてゐる。又手工用材料なども可成り斬新なものが考案されてゐる。だからこれらの方面は相當開拓されてゐるのであるが、幼稚園教育そのもの研究が今後餘程進んで行かないとそれらの新しく考案されるものを充分利用することが出来ない。やゝこもすれば次ぎから次ぎへも考案される童謡遊戯や手工材料に幼稚園が押されて幼稚園の教育的本領を忘却してゐるやうな情態に陥り易いのである。今日は何づれの方面にも再検討を要する時代である。幼稚園教育に就いても其目的、其方法などについて精細な再検討を試みる必要があると思ふのである。此れは幼稚園教育に對する著者の希望で此の研究は勿論直接の關係はない。此の研究は僅かに幼稚園教育の一部、圖畫と手工に關するもので、それも極く一部分の統計的觀察に過ぎないものである。併し斯る研究は矢張り幼稚園教育全般に對する著者の希望が斯くなさしむるに至つたのであるから茲に全般に對する希望に述べ及んだからして全然無意味とは思はない。特に著者は幼稚園教育は出来るだけ自由主義でなければならぬと思つてゐる。故に其自由主義による結果を統計的に見て、更らに幼稚園教育に於ける自由主義の必要なることの前提をなさんとするのである。元來幼稚園には自發的と云ふことが八釜敷く唱へられてゐるが、實際にはむづかしいことと見え、結局口では自發的と云ひながら、實際では大部分が干渉的であるのではないかと思はれるのである。

尙最後に一言手工について附言して此の稿を終ることにする。

手工はフレール主義の教育から云へば恩物に次ぐものであつて、手工の種々なる種目(フレールでは十種目になつてゐる)は総合的に大なる意味を有するものである。だから其方向から云へばこれらの手工を幼児の自由撰擇に任せないで、適當なる方法によつて適當にこれらを課して行くことに寧ろ教育價値の大なるものを認めなければならぬことになる。成る程理論的には然うも考へられないではないが實際には仲々の難事である。のみならずフレールの如く深く考慮され組み立てられた教育が果して幼稚園に適當したものであるや否やも甚だ疑問をしなければならぬ。無論斯く云ふのは幼稚園の教育を輕んじて云ふのではなくもつと幼児の生活そのものに則した教育がなければならぬ云ふ考へから云ふのである。それで幼稚園の手工は幼児の自由撰擇に任せ課せられた仕事でなく自由の仕事としてなさしめ、仕事の結果も必ずしも規定のものでなく、幼児自身が見出す結果でよいと思ふのである。幼児が自由に或ることをなし、或る結果を見出すなら、それには或る規定の結果に到達した以上の教育的効果があるに相違ない。故に幼稚園に於ける手工は飽くまでも自由主義によらねばならぬと思ふ次第である。(終り)